

羽村市における東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に関する取組基本方針

(平成 28 年 5 月 12 日 決定)

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「東京 2020 大会」という。）の開催により、世界の国と地域から、多くのアスリートや観客が東京や日本各地を訪れることになるとともに、各種メディアにより東京 2020 大会の様子等が広く紹介され、世界的な注目を集めることとなります。

オリンピック競技大会・パラリンピック競技大会は、スポーツを通じた平和の祭典であり、開催都市「TOKYO」の一員として、東京 2020 大会の成功に向け、関係都市等と連携・協力するとともに、次世代に誇れるレガシー（有形・無形の遺産）を創出するため、以下の取組基本方針を定め、これを推進していきます。

1. 連携・協力による大会気運の醸成

- 東京都や東京 2020 組織委員会等との連携による PR 活動を通じて、東京 2020 大会の気運醸成を図るとともに、広域連携も視野に入れた海外選手団の事前キャンプの誘致に努めます。
- 東京 2020 大会の関連イベントの開催等、市民・団体等と協働した取組みを検討し、市民の参加意識の高揚を図ります。

2. 市民スポーツの振興及びスポーツを通じた健康づくりの推進

- 東京 2020 大会を契機として、市民のスポーツへの関心を高め、健康づくりの意識の高揚を図り、体力・運動能力の向上に繋げていきます。
- パラリンピック競技種目の紹介等の普及啓発活動により、障害者の理解促進や障害者スポーツの振興を図り、障害者の社会参加の拡大に繋げていきます。

3. まちの魅力の発信及び産業の活性化

- まちの魅力を国内外に発信するとともに、広域連携も視野に入れた応援団等の外国人観光客の滞在・観光の誘致に努めます。
- 商工会・観光協会・農業団体等と連携し、東京 2020 大会を契機とした産業の活性化を図ります。

4. 文化芸術の振興及びグローバル人材の育成

- 東京 2020 大会を契機として、市民の文化芸術活動の参加機会の充実を図り、多様な文化芸術活動の発展に繋げていきます。
- ボランティアマインドの醸成、心のバリアフリーの浸透、豊かな国際感覚の醸成等、オリンピック・パラリンピック教育を展開し、心身の健全育成とともにグローバルな人材の育成に繋げていきます。

5. 来訪者にもやさしいまちづくりの推進

- 公共施設等の表示・標識等の多言語対応やボランティアの育成等、関係団体と連携し、外国人観光客の受入環境の整備に努めます。
- 多様性を尊重し、公共施設等のバリアフリー化の推進に努めます。